

# 簿記論 解答速報

第70回税理士試験 簿記論解答速報 (令和2年8月20日 16:00現在)

解答は弊社独自の見解に基づき作成するもので、主催者の解答を保証するものではありません。

また、解答は予告なく変更することがあります。

〔第一問〕

問 1

設問(1)	①	②	936,000	②	①	3,247,000
	③	①	138,000	④	①	211,000
設問(2)	⑤				①	845,000 円
	⑥				①	25,000 円
	⑦				①	1,550,000 円
	⑧				①	1,538,000 円
	⑨				①	386,000 円
設問(3)	⑩				②	4,822,000

問 2

設問(1)

①	①	キ	②	①	ケ	③	①	シ
④	①	ウ	⑤	①	ア	⑥	①	サ
A		①	30,187.5 (千円)	B		①	5,000 (千円)	
C		①	1,050 (千円)	D		①	1,350 (千円)	

設問(2)

①	①	560,000 千円	②	①	270,800 千円	③	①	2,100 千円
---	---	------------	---	---	------------	---	---	----------

〔第二問〕

問 1

(1)	[2] 支店独立会計制度				
(2)	借 方		貸 方		
	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額	
[1]	現 金 預 金	2,140	未 達 現 金	2,160	
	支 店 ※	20			
(3)	①	[1] 6,090 円	(4)	①	[1] 1,453,100 円
	②	[1] 161,264 円		②	[1] 591,140 円
	③	[1] 731,264 円		③	[1] 137,000 円
	④	[1] 2,101 ドル		④	[1] 468,900 円
				⑤	[1] 108,000 円
				⑥	[1] 7,984 円

※ 別解：為替差損益

問 2

(1)	①	[2] 21,276 円	②	[2] 14,875 円	③	[1] 8,510 円
(2)	①	収 益 の 科 目		金 額		
		[1] エ	[1] 8,000 円			
	②	費 用 の 科 目		金 額		
		[1] ウ	[1] 6,838 円			
③	資 産 の 科 目		金 額			
	[1] シ	[1] 22,200 円				
(3)	借 方			貸 方		
	勘 定 科 目	金 額		勘 定 科 目	金 額	
[1]	ク	8,000		シ	7,692	
				イ	308	

## 〔第三問〕

(単位：円)

番号	金額	番号	金額
(1)	1 182,700	(21)	2 150,000
(2)	2 21,400,000	(22)	2 10,000
(3)	2 1,100,000	(23)	1 3,512,000
(4)	1 100,000	(24)	2 100,000
(5)	2 10,152,000	(25)	2 6,000,000
(6)	1 1,400,000	(26)	1 660,000
(7)	1 400	(27)	1 1,899,940
(8)	1 1,200,000	(28)	1 4,050,000
(9)	1 5,531,000	(29)	1 94,958
(10)	2 1,350,000	(30)	1 210,000
(11)	1 7,920,000	(31)	2 2,709,730
(12)	1 1,980,000	(32)	1 490,000
(13)	1 20,561,000	(33)	1 36,590
(14)	1 9,000	(34)	1 125,000
(15)	1 59,596,540	(35)	1 100,000
(16)	1 15,200,000	(36)	1 95,000
(17)	2 2,000,000	(37)	1 24,310
(18)	1 1,000	(38)	2 200
(19)	1 10,760	(39)	1 600,000
(20)	1 2,099,940		

※ 別解 (12)繰延税金資産：1,800,000 (15)その他費用：58,996,540 (19)支払手数料：10,560  
(23)未払費用：2,912,000 (29)貸倒引当金：94,960 (39)法人税等調整額：420,000  
(別解の場合、(20)法人税等と(27)未払法人税等の金額は上記解答と異なる数値となります。)

# 第70回 税理士試験 簿記論 講評

## 第一問

問1、問2ともに平易な内容であり、高得点を取っておきたい問題でした。

### ・問1（商品売買取引を中心とした推定問題）

簡単な内容の推定問題であり、問題構造も単純なものとなっていましたので、完答も十分可能な問題でした。

### ・問2（純資産会計）

新株予約権、剰余金の処分、自己株式、その他有価証券などの仕訳および計算はすべて基本内容です。ただし、端数が生じる箇所があり、その点で戸惑ってしまう可能性がありました。

## 第二問

### ・問1（在外支店）

問題の構造上、すべて解答しようとするのは手間もかかり困難です。設問(1)は確実に解答すべきであり、あとは(3)と(4)のうち一部の箇所が正解できていればよいでしょう。

### ・問2（リース会計）

借手側の内容は確実に正答しておきたいところです。貸手側の内容自体は難しくはなかったものの、過去に1回だけしか出題されていない内容でもあり、対応はしにくいところでした。

## 第三問

外貨建取引や一般商品売買の出題内容が複雑になっており、レンタル固定資産の処理など見慣れない内容が含まれていましたので、難しい問題だと感じられてしまったかもしれません。ただし、預金、割賦販売、有価証券、ソフトウェア、退職給付引当金など比較的解答しやすい内容も多く出題されており、このあたりでしっかり点数を伸ばしておきたいところでした。

## 予想合格ライン

以上を踏まえての予想合格ボーダーラインは次のとおりとなります。

第一問	第二問	第三問	合計
22点	12点	26点	60点